

第38回創傷治癒学会総会開催にあたって

東邦大学医学部病理学講座 石井 壽晴

一昨年の理事会で辞退する機会を失い、図らずも本年12月5,6日に、品川区大崎に在り、こけら落としでは、Lady Thacherによる講演に供されました「石橋湛山記念講堂」において総会開催を担当することを余儀なくなりました。本学会が、未だ研究会でありました12,3年前頃、小生が創傷治癒に関して最初に指導した「創傷治癒過程における血管新生」に関する研究が、生返事のままでありましたが、形成外科から配属されていた研究生により本研究会に出題され、しかも、当時、大学病院の分院の診断病理部門における責任者といっても、いわゆる一人病理医として激務に就いていたために、発表にも立ち会えませんでした。その後、1年経ち、小生も現施設に移りましたが、偶々、その研究が、奨励賞を頂くことになり、殆ど訳もわからないままに、当研究会の世話人として参加する要請を受けたのが、本研究会とのご縁の始まりです。以後、責任ある立場で入会した上は、演題も出さねばならぬということで、現施設から、今でも、申し訳なく思いますが、一人の犠牲者を選んで、「scarless wound healing」を志向した基礎的研究を続けて頂いていますが、彼が奮闘努力を続けた果実として、学会奨励賞、学会賞を相次いで頂くことが出来ました。今では、これで良かったのかも知れないと思うことがございます。

いうまでもなく、小生の所属します私立大医学部は、経済的にも、又マンパワーの上でも、弱小であり、学会をお引き受けするにも、正直躊躇致すところが多いのですが、このように、小生の我が儘を聞き入れて、日常業務で繁忙な中で、黙々と研究している仲間のためにも、隘路を克服して、是非、来る学会を成功裡に迎えることが出来たらと念じます。現在、解決すべき問題が多くあり、様々なことに着手したばかりですが、これには、本学会関係者の皆様方のご支援がなければ、達成不可能であります。本紙上をお借りしましてお願い申し上げる次第であります。又、ご要望・お気づきのことなどございましたら、ご遠慮なく、お申し出下さるようお願い致します。



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2008.4
No.44

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel. 03-3353-1211

(内線62269)

fax.03-3353-2681

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

日本創傷治癒学会 役員一覧 (2008.1現在)

【五十音順敬称略】

名誉会員 阿部令彦、阿部力哉、井口 潔、石引久彌、磯野可一、稲山誠一、岩井武尚、内田雄三、遠藤光夫、岡田 正、落合武徳、掛川暉夫、櫻井健司、塩谷信幸、杉町圭蔵、田井良明、田中 隆、田辺達三、鶴藤 丞、林 四郎、藤城保男、三島好雄、三輪晃一、森 昌造 (24名)

特別会員 青木照明、浅野伍朗、穴澤貞夫、磯本浩晴、市川英幸、岩橋寛治、大浦武彦、加藤紘之、金澤曉太郎、上石 弘、小平 進、齋藤和好、杉立彰夫、鈴木邦夫、炭山嘉伸、田澤賢次、中村輝久、中山一誠、西岡 清、船曳孝彦、細田泰弘、前田昌純、松野正紀、丸山圭一、宮内好正、毛利喜久男、渡辺洋望 (27名)

理 事 (*理事長) 石井壽晴、大谷吉秀、岡田保典、小野一郎、*北島政樹、黒柳能光、嶋田 紘、中島龍夫、野崎幹弘 (9名)

監 事 熊谷憲夫、田尻 孝 (2名)

事務局幹事 吉田 昌 (1名)

評 議 員 相川直樹、赤坂喜清、秋田定伯、秋野公造、浅尾高行、安藤暢敏、石井壽晴、磯貝典孝、市岡 滋、井上 聡、上田和毅、内沼栄樹、大慈弥裕之、大谷吉秀、大野真司、岡 博昭、岡田保典、小野一郎、加藤広行、川上重彦、貴志和生、北島政樹、北野正剛、木山輝郎、窪地 淳、熊谷憲夫、黒柳能光、桑野博行、古森公浩、近藤稔和、雜賀司珠也、坂本長逸、佐々木健司、笹嶋唯博、佐藤道夫、真田弘美 篠澤洋太郎、嶋田 紘、島田光生、調 憲、白水雄雄、須釜淳子、鈴木茂彦、須田年生、高野邦夫、竹之下誠一、田尻 孝、館 正弘、田中秀子、田畑泰彦、田原真也、塚田邦夫、徳永 昭、渡会伸治、鳥居修平、鳥飼勝行、中島龍夫、永田見生、中塚貴志、中西秀樹、中村哲也、名川弘一、野口 剛、野崎幹弘、畠山勝義、百束比古、平林慎一、保阪善昭、丸山 優、宮澤光男、宮本正章、森口隆彦、吉田 昌、吉村陽子、和田則仁 (75名)

